

第2回 小鹿野町役場庁舎検討委員会（要点筆記）

日 時	平成28年12月15日(木)	開会	午後1時30分
		閉会	午後4時10分
会 場	小鹿野庁舎 第1会議室		
出席者	丸山陽生 佐藤恭平 原口悟志 井上要作 石田悦朗 山崎勉 吉田恭典		
	岩崎宏 黒沢裕幸 笠原憲一 柴崎好一 坂本好司 多比良キヨ子		
	隅田静江 柿島佳弘 丸岡庸一郎 黒沢一男		
	(事務局 黒澤総務課長、須藤)		
傍聴者	日本建設新聞記者 埼玉新聞記者		

内 容	
発言者	発言の要旨
	(開会のあいさつ)
総務課長	民生児童委員協議会長の交替により、黒田委員から多比良委員に交替となります。
丸山委員長	今日が第2回目の委員会です。よろしくお願いします。 議題(1)第1回の会議の要旨について。
事務局	第1回の会議の議事録を朗読。
黒沢一男委員	議事録を次回の会議通知と一緒に委員に送り、委員が見て建設的な会議にしたほうが良い。
丸山委員長	次の第3回委員会には資料と一緒に議事録を送付することとします。 第1回の議事録はこれでよろしいでしょうか。
	異議なしの声あり
丸山委員長	第1回の議事録はこの形で公開します。 議題(2)役場庁舎の現状(視察)について。
総務課長	本日の委員会の進め方について説明。
事務局	役場庁舎の現状について説明。
総務課長	役場庁舎の視察について説明。
	(役場庁舎の視察)
丸山委員長	庁舎の視察を終えて、質問や意見はありますか。
	なしの声
丸山委員長	議題(3)町の財務状況について。
総合政策課長	町の財務状況について説明。
黒沢一男委員	庁舎の検討についての会議だが、町長が同席していないのは理解できない。
総務課長	審議を委員会にお願いしている。町長が主催している会議ではないが、町長の考えを聞きたいというのであれば、参考人として出席してもらおう。とりあえず、皆さんで意見を出していただきたい。
丸山委員長	具体的な意見が出た段階で、町長の意見が聞きたい場合は会議の中で説明を受けることが良いと思うが皆さんどうですか。

発言者	発言の要旨
黒沢一男委員	委員長にお任せします。 この次の会議に皆さんの意見を出して、庁舎をどうするのか具体的に出してもらって方向を決めることが良い。 視察してみて、両神庁舎のほうが良かった。 庁舎の運営の仕方や財政の状況を踏まえて庁舎をどうするのかということが検討委員会の課題だ。それぞれの委員の思うこと提案してもらおう。
丸山委員長	会議を重ねて意見をまとめることが必要。現状を踏まえて検討することがこの会の目的と思う。
黒沢裕幸委員	両方の庁舎を一緒にやっていくのか、一本で考えるのか。三田川中学校など学校があいている。庁舎の位置は三田川にという考え方としたほうが進んでいけるのではないかな。
丸山委員長	庁舎の問題は町全体の大きなこと。早急に結論を出すのではなく、検討委員会の方向性を出す。
山崎委員	最終判断は町長になると思うが、検討委員会なのでじっくり検討して、ひずみのないようにしてもらえばよいので委員長に賛成だ。 町の活性化を考えると、庁舎は町のシンボルとなる。そう考えれば、建て替えも良いと思う。
石田委員	庁舎の耐震・改修や建て替える場合の金額を出してもらえると検討しやすい。
丸山委員長	建物を補修するなら専門家に見てもらえば出ると思うが、新しいものを作る場合は方向性がまだ決まってないのでむずかしいか。事務局には出せる資料は検討してもらおう。
総務課長	皆さんから指示があれば準備したい。
岩崎委員	合併特例債が平成32年まで使える。小鹿野の人口動態を見ると高齢者も多く減る一方だ。 庁舎の規模をどうするのか。統合により中学校の校舎が空いたが、新しいものではないので機能的にこのままでは使えない。
黒沢一男委員	前回の会議の日に議会は庁舎の視察に行った。議会は庁舎について進んだ考えをしている。議会は委員会に報告してもらいたい。
丸山委員長	事務局は資料は出せるものは出してほしい。委員会はじっくり進めたい。
黒沢一男委員	委員として意見を書面で提示してもらおうことを委員会で決めてもらいたい。
笠原副委員長	まだ資料が出ていない。出そろってから意見を聞いたほうが良い。
黒沢一男委員	まず自分の意見を出す。資料のないところから考えを進めて、資料が出たら資料と合わせて意見を出す。
黒沢裕幸委員	来年7月下旬に委員会の案を出す、選挙も予定されており選挙の結果で、誰がどうに使うのかわからない。
総務課長	町長は委員会の案を尊重すると思う。選挙になる前に案をまとめたい。必ずしも、皆さんの意見を1つにまとめるということではない。また、時期もずれ込むこともある。町長が替わったとしても尊重してもらいたい。
黒沢一男委員	委員会で決めるのは多数決で1つを決めるのか、いくつかの案を決めるのか。いろいろな選択肢で方向性を決める、いろいろな審議をしてもらう。
丸山委員長	いくつかの方法を出す。いくつかのものを協議してまとめていく。1つに決めるということではない。詰めていく中で絞っていく。
黒沢一男委員	委員として自分の意見を出すことは必要だ。
丸山委員長	それをやるのはまだ先だと思う。
黒沢一男委員	今後いろいろな情報が入ってくると、考えに迷うことがある。
丸山委員長	検討しないうちから意見を言うのはどうか。

発言者	発言の要旨
多比良委員	今はまだ考える余地・機会がほしい、意見は述べたい人が述べるのが良い。
黒沢一男委員	まず考えていろいろな情報を聞いて、考えを変えることもあっていい。むずかしいことではなく、まず意見を出すこと。
岩崎委員	特例債を使ってもお金はかかる、後の世代の負担になる。そういうことも情報として事前に知らせる。それで意見を出せばよい。
丸山委員長	個人の意見ではなく、委員会としていくつかの提案をまとめて結論を出す。
山崎委員	個人の意見を出すということは、今後の宿題としてはどうか。
総務課長	意見の出し方として文書で出す人もいる。他の委員の意見に賛同する人もいる。委員会なので自由に討論してほしい。
丸山委員長	本日の委員会は閉会とします。 次回の委員会は1月下旬の予定です。